

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 第 1 回 国際交流委員会
議事次第

日 時：2024 年 4 月 22 日（月）15：00～16：00

場 所：兵庫国際交流会館 1 階 Nadacon Station

委員校：明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星
女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸市外国語大学、神
戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学
園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 （計 26 校）

・ 報告事項

- 1) 2024 年度国際交流委員会委員校について (資料 1)
各委員校の国際交流事業の状況、取り組み事例等の共有（自己紹介も兼ねて）
- 2) 2024 年度兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業受託（5 年間）について (資料 2)
- 3) 大学コンソーシアムひょうご神戸、兵庫県国際交流協会(HIA)、 (資料 3)
との 3 者協定について

・ 協議事項

- 1) 2024 年度国際交流委員会事業計画について (資料 4-1)(参考資料 1)
国際交流委員会事業における達成目標と活動指標について
兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業について (資料 4-2)
学生海外派遣プログラムについて 神戸常盤大学 (資料 4-3)

・ 連絡・調整事項

- 1) 2024 年度の国際交流委員会開催日程
第 2 回委員会 9 月：2024 年度 タイプ 3 プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）
第 3 回委員会 12 月：2024 年度 自己評価（案）
第 4 回委員会 2 月：2025 年度 事業計画・予算案（案）
第 5 回委員会 3 月：2025 年度 事業報告・決算（案）

< 資料一覧 >

- (資料 1) 2024 年度 国際交流委員会名簿
- (資料 2) 兵庫県国際交流協会における国際交流拠点推進事業企画提案書
- (資料 3) 大学コンソーシアムひょうご神戸、兵庫県国際交流協会(HIA)、国際協力機構関西センター(JICA
関西)との 3 者協定書
- (資料 4-1) 2024 年度 国際交流委員会 事業計画（案）
- (資料 4-2) 留学生の医療・生活支援について
- (資料 4-3) 学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学
- (参考資料 1) 2024 年度 国際交流委員会 事業予算

大学コンソーシアムひょうご神戸 2024年度 国際交流委員会名簿

資料 1

	学校名	所属部署名	役職名	氏名
1	兵庫県立大学(委員長校)	国際商経学部	教授	末弘 美樹
	兵庫県立大学(委員長校)	教育企画部国際交流推進課	課長	八木 美香子
2	神戸市外国語大学(副委員長校)	国際交流センター	国際交流センター長	金子 百合子
	神戸市外国語大学(副委員長校)	国際交流センター	係長	壽谷 理恵
3	明石工業高等専門学校	グローバルエデュケーションセンター	グローバルエデュケーションセンター長	水野 裕貴
	明石工業高等専門学校	総務課総務・人事チーム	主任	椎塚 有美
4	芦屋大学	経営教育学部	特任准教授	山片 崇嗣
	芦屋大学	学生部 国際交流課	職員	田口 真理子
5	大手前大学	国際日本学部	教授	植松 茂男
	大手前大学	国際交流センター	課長	奥田 明美
6	大手前短期大学	国際日本学部	教授	植松 茂男
	大手前短期大学	国際交流センター	課長	奥田 明美
7	関西国際大学	心理学科	グローバル教育センター長(教授)	川脇 康生
	関西国際大学	国際交流課	課長	久保田 裕美
8	関西福祉大学	教育学部保健教育学科	准教授	市橋 真奈美
	関西福祉大学	学生支援課	課長	高橋 琴代
9	関西学院大学	国際連携機構	機構長補佐 国際学部教授	長谷 尚弥
	関西学院大学	国際連携機構事務局	専任主管	澤村 裕
10	関西学院大学短期大学	国際連携機構	機構長補佐 国際学部教授	長谷 尚弥
	関西学院大学短期大学	国際連携機構事務局	専任主管	澤村 裕
11	甲南大学	国際交流センター	副所長	中川 真太郎
	甲南大学	国際交流センター事務局	課長	小幡 真史
12	甲南女子大学	対外協力センター	対外協力センター長	岩崎 佳孝
	甲南女子大学	対外協力センター国際交流課	国際交流課長	松井 小枝子
13	神戸大学	大学教育推進機構グローバル教育センター	教授	河合 成雄
	神戸大学	学務部国際交流課	課長	浦田 勇二
14	神戸海星女子学院大学	英語観光学科	講師	佐伯 瑠璃子
	神戸海星女子学院大学	教学課		内山 まい
15	神戸学院大学	国際交流センター	所長	岡部 芳彦
	神戸学院大学	国際交流センター	事務部長	高山 修
16	神戸国際大学	学生支援センター(国際交流・国際別科担当)	国際交流センター長	北 邦弘
	神戸国際大学	学生支援センター(国際交流・国際別科担当)	室長	林 昌平
17	神戸市看護大学	神戸市看護大学看護学部	教授	神原 咲子
18	神戸松蔭女子学院大学	国際交流センター	所長	古川 典代
	神戸松蔭女子学院大学	国際交流センター		高木 るい
19	神戸女学院大学	国際交流センター	課長	高地 雅之
	神戸女学院大学	国際交流センター	ディレクター	北川 将之
20	神戸親和大学	国際・留学センター	センター長	宇野 光範
	神戸親和大学	国際・留学センター事務局	課長	関根 慎二
21	神戸常盤大学	国際交流センター	センター長	鈴木 高史
	神戸常盤大学	学生支援課	課長補佐	青木 弥生
22	園田学園女子大学	国際交流センター	課長	安川 雅信
	園田学園女子大学	国際交流センター		辻本 仁美
23	園田学園女子大学短期大学部	国際交流センター	課長	安川 雅信
	園田学園女子大学短期大学部	国際交流センター		辻本 仁美
24	兵庫大学	副学長	留学・国際交流センター長	榎木 浩
	兵庫大学	留学・国際交流センター事務局	課長代行	上田 泰雅
25	兵庫大学短期大学部	副学長	留学・国際交流センター長	榎木 浩
	兵庫大学短期大学部	留学・国際交流センター事務局	課長代行	上田 泰雅
26	芸術文化観光専門職大学	芸術文化観光学部	教授	山中 俊之
	芸術文化観光専門職大学	教育企画部学務課	国際交流コーディネーター	マコメ 佳奈子
	大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流・キャリアチーム	次長	鈴木 真紀子
	大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流・キャリアチーム		長谷 葉子
	大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流・キャリアチーム		慈 麻衣子

兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業イメージ図

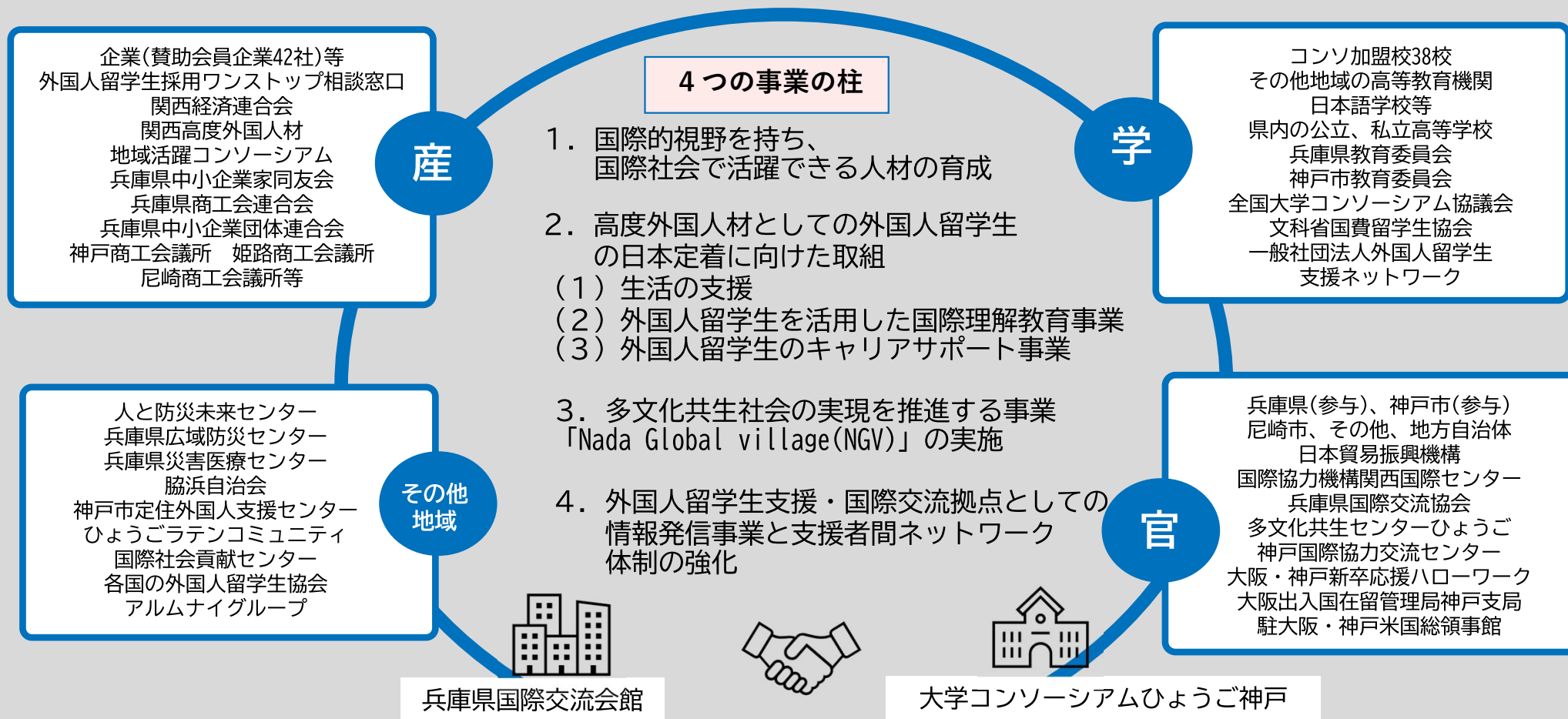
趣旨

兵庫国際交流会館において「**大学連携・産官学連携による人材育成**」と「**外国人留学生の受け入れから日本定着までの幅広い支援**」によって、多様な人々が安全・安心に暮らし、互いに個人の尊厳と人権を尊重しながら、能力を最大限に発揮できる**多文化共生社会の実現を推進**すること

(参考)

- ・日本学生支援機構 中期目標
- ・日本学生支援機構 見直内容
- ・未来創造会議第二次提言
- ・「日本再興戦略改訂2016」
- ・大学の国際化によるソーシャリティイノベーション創出支援事業
- ・留学生就職促進教育プログラム認定制度
- ・兵庫県国際交流の総合的推進について 等

人材育成・定着促進・多文化共生促進・地域の連携拠点構築



地域社会と一体となった**グローバル人材の育成・定着の促進**や多様な人材が活躍できる多文化共生社会の実現に向けた取組を行う、地域の重要な拠点

令和 6 年 2 月 17 日

兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進
企画提案書

独立行政法人日本学生支援機構
理事長 吉岡 知哉 殿

所在地 兵庫県神戸市中央区脇浜町一丁目 2 番 8 号
兵庫国際交流会館 1 階

法人等名
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

代表者等役職・氏名 中井 伊都子 印

兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業に関し、下記のとおり申請します。

事業の期間と参画機関

- 1．事業期間
2024 年 4 月 1 日 ～ 2029 年 3 月 31 日(最長 2029 年 3 月 31 日)
- 2．当該事業への参画機関とその連絡先(所在地・電話番号・FAX)

機関名	所在地・電話番号・FAX
【代表となる機関】 一般社団法人 大学コンソーシアム ひょうご神戸	兵庫県神戸市中央区脇浜町一丁目2番8号 兵庫国際交流会館1階 電話番号 078 (271) 0233 FAX 078 (271) 0244
【それ以外の参画機関】 必要な場合のみ記入すること。	

兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 実施計画書

1. 事業の実施計画

□事業の趣旨及び目的。

(趣旨)

兵庫国際交流会館において、「大学連携・産官学連携による人材育成」と「外国人留学生の受け入れから日本定着までの幅広い支援」によって、多様な人々が安全・安心に暮らし、互いに個人の尊厳と人権を尊重しながら、能力を最大限に発揮できる多文化共生社会の実現を推進することを「兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(以下「本事業と記す」)の趣旨とする。そして、本事業を通して兵庫国際交流会館が、地域社会と一体となったグローバル人材の育成・定着の促進や多様な人材が活躍できる多文化共生社会の実現に向けた取組を行う、地域の重要な拠点として広く認知されることを目指す。

(目的)

1.「兵庫国際交流会館の特徴」と「一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「当コンソと記す」)の組織・経営資源」と「これまでの本事業の成果」を融合させた事業展開

当コンソは、全国で4番目の大学集積地である兵庫県の産官学連携プラットフォームとして、大学等高等教育機関の加盟校38校、賛助会員企業42社が参画し、地域の経済団体と「ひょうご産官学連携協議会」を結成している。この当コンソの持てる人的資源や、2006年設立以来18年間培ってきた外国人留学生、日本人学生、教職員支援の経験や、2023年度より兵庫県の受託事業として開設した「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」など、当コンソがこれまで蓄積した経験と構築した連携機関との関係等の経営資源を最大限に活用して、本事業を実施する。さらに、近年のコロナ禍、世界情勢不安、自然災害など予測不可能な時代のニーズにも柔軟に対応できるように、積極的に新たな関係先の開拓を続ける。

また、平成28年度から受託している本事業の実施過程において、独立行政法人国際協力機構関西国際センター(以下「JICA 関西」と記す)と公益財団法人兵庫県国際交流協会(以下「HIA」と記す)と信頼し合える協力関係を築き上げた結果、2024年4月より「連携と協力に関する協定」を締結することとなった。これにより、外国人留学生、大学生、国際協力、地域とそれぞれの専門性を融合した、これまで以上に質が高く、広範囲に影響を及ぼす事業展開が期待できる。

これらの経営資源を有効に活用して、約40か国・地域、約200名の留学生等が居住する兵庫国際交流会館を、学生が学んだことのアウトプットや将来の自己実現に繋がる挑戦ができる「オフキャンパス」の場として、(1)国際交流を軸にした幅広い体験ができる機会を与え、(2)外国人留学生が日本社会に溶け込み、共生していく環境を構築するとともに、(3)日本人学生の海外留学への機運を醸成する。

この結果として「オンキャンパス」と「オフキャンパス」の学びが相互に作用し、大学と地域の間で多様な学びの還流が生まれ、外国人留学生と地域住民の相互理解・共生意識を涵養し、多文化共生社会の実現を推進することや、将来に繋がる人的ネットワークの広がり創出を目指す。

2. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成

多発する自然災害、激動する世界情勢、生成 AI の出現、価値観の多様化など、国際社会は先の見えない時代を迎えている。このような国際社会で活躍する未来人材には「所属、国籍、文化、宗教、性的指向及び性自認、価値観などの違いを乗り越え、多様な人々と関係を築くなかから新しい価値を生み出し、それらを周囲に波及させることができる能力」が必要である。本事業では、外国人留学生や日本人学生が、あらゆるジャンルの取組への参加や取組自体の企画・運営・広報などを通して、多様な人と関わり合いながら、これらの能力が身につくよう育成する。

3. 「2033 年までに外国人留学生受け入れ 40 万人計画」を意識した留学生交流事業の実施

政府の教育未来創造会議(2023 年 3 月発表)で発表された当計画の具体的な方策として、有望な外国人留学生の受入れの促進や、外国人留学生の卒業後の活躍に向けた環境整備として、外国人留学生の就職支援や受入れ企業の環境改善などが挙げられている。

これらの実現には、(1)外国人留学生が日本で安全安心な生活を送ることを大前提として、外国人留学生が地域住民や中高生との交流などによって日本でのプレゼンスを向上させ、「留学後も日本に住みたい」という考えを醸成し、(2)外国人留学生に、日本企業の経営者、社員、元留学生社員との交流や留学生インターンシップ実習などを通じて、早い段階から、日本の文化と企業文化、就業環境を知り、「卒業後も引続き日本で生きていくために何をしなければいけないか」を考え、具体的な行動変容のきっかけを与えることが必要である。そして、(3)日本企業は「多様な可能性をもつ、多様な外国人留学生を人材と捉え、採用の機会と活躍する場を提供する」という意識を持ち、外国人留学生にとって日本が「第 2 の母国」となり、日本に定着することにつながる取り組みが必要である。

また外国人留学生には、外国人留学生同士の横の繋がり、母国の先輩と後輩という縦の繋がりがある。これらのネットワークで日本の良さを母国語で発信し、帰国後も母国で日本留学を発信することで、日本への留学熱が広がることを期待したい。

4. 多文化共生社会の実現を推進する、持続可能な地域の国際交流拠点づくり

当コンソは、平成 28 年度から代表機関として本事業を受託してから現在まで「日本社会に暮らす様々な人々が多様性を認め合いつつ、外国人・日本人の垣根を超えて、よりスムーズに活動できる多文化共生社会の構築」を目標に本事業を実施してきた。

令和 6 年度からの本事業は、今後の日本社会においても引続き重要なテーマである当目標の成果が持続可能なものとなるよう、これまで構築した仕組みやネットワークを継承しつつ、より時代の変化とニーズにあった取組を柔軟に実施し、兵庫国際交流会館が地域の国際交流の重要な拠点となり続けることを目指す。

□国内外の優秀な学生の居住、学生間の相互理解や外国人留学生の我が国に関する理解の増進、将来につながる人的ネットワークの構築、優秀な外国人留学生の我が国での就職の支援等による定着の促進等に留意した事業の内容。

「大学連携・産官学連携による人材育成」と「外国人留学生の受け入れから日本定着までの幅広い支援」によって多文化共生社会の実現を推進し、兵庫国際交流会館が地域の国際交流の重要な拠点となるための具体的な方法として、以下4つの柱に基づき事業を実施する。

1. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成

2. 高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組

(1) 生活の支援

→日本で安全・安心に生活する術を知り、正しく滞在することで今後の定着に繋げる

ア.防災教育の実施

イ.在留資格の相談会の実施(大阪出入国在留管理局神戸支局による)

ウ.生活相談や医療相談の案内

(2) 外国人留学生を活用した国際理解教育事業

→外国人留学生の日本社会でのプレゼンスの向上と日本の中・高校生の海外志向の推進

ア.地域連携プログラム「英語村」(兵庫県国際交流会館内での英語プログラムの提供)

イ.大学との連携による共同事業

ウ.兵庫県国際交流会館の寮生との連携による共同事業

(3) 外国人留学生のキャリアサポート事業

→高度外国人材として日本に定着し活躍するために

3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global village(NGV)」の実施

4. 外国人留学生支援・国際交流拠点としての情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化

以下に、4つの柱の事業詳細を記す。

1. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成

本事業において、外国人留学生と地域との相互理解を促し、共生を推進する取組を主体的に実施することを目的に、兵庫国際交流会館の寮生や地域の日本人学生・外国人留学生、高校生等を構成員とする多国籍企画チーム「Team gnavi」の活動を継続する。

「Team gnavi」には、本事業の多文化共生推進に係る活動を企画・運営・広報する機会が与えられ、その活動を通して、国際社会で活躍するために必要な能力である「多様な人々と関係を築き、違いの中から新しい価値を生み出し、周囲に波及させることができる能力」が身につくことを期待する。そして、前年や前々年度より本事業で「Team gnavi」として活動し、その過程で能力を身に付けたメンバーが、自立した自主性の高い集団づくりのリーダーシップを発揮することを期待する。当コンソスタッフは、「Team gnavi」が主体的に活動できるように全面的に支援を続ける。

【Team gnavi の活動内容】

(1) 「Team gnavi」の能力を高め本事業の質を向上させること、「Team gnavi」への参加者を新たに集めることを目的に、以下2種類の講座を提供するが、具体的な講座内容はその時代の動向や集まったメンバーの特性を考慮して決定する。

ア. 多様な人々と関係を築き、違いの中から新しい価値を生み出す能力を養成する講座
例：ファシリテーション力、リーダーシップ力、デザイン思考、アート思考、ラテラルシンキング、プレゼンテーション力 他

イ. 「周囲に波及させることができる能力」を養成する講座
例：SNS 発信力講座、動画製作講座、広報講座 他

(2) 「Team gnavi」が学んだことをアウトプットする場としての活動。

ア. 優秀な外国人の受け入れ促進に貢献するため、日本文化や日本留学の魅力を海外に伝える動画の作製や SNS による広報

イ. 本事業の「Nada Global village(NGV)」や「英語村」や「多文化交流フェスティバル(仮称)」や多文化共生推進に関するワークショップやセミナーの企画、運営

ウ. イベント参加者を対象とした会員組織の運営

本事業の参加者で希望する方のみ会員として登録する。会員は自身が必要とする情報毎にカテゴライズされ、当コンソは「Team gnavi」と協力して、そのカテゴリーが必要とする情報の発信や、イベントの計画を通じて、一過性ではない参加者間のネットワークを構築し、以降の日本での滞在に役立ててもらおう。

○実施期間：2024 年度～2028 年度

講座は、 , それぞれ年1講座(4回)以上開講

(1 講座：週1回×1か月合計4回)× 、

○定員：各年度、各講座10～15名程度

○対象：外国人留学生・日本人学生・社会人等

○連携先(案)：当加盟校の教授、過去の本事業で好評だった講師、

「Team gnavi」が必要とする講座を提供している講師 他

2 . 高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組

このテーマの取組は、「卒業後も日本で暮らしたいと思う外国人留学生を増やすための取組」と、「日本で就職希望する外国人留学生が、確実に日本に定着するための取組」の両面で考える必要がある。これらに共通していることは、安全・安心で正しい留学生活が、外国人留学生の日本への理解・共感を深め、日本の定着に繋がると捉え、外国人留学生の日本定着の必要性を地域全体で共有し、産官学の有機的な連携によって取り組むことが不可欠なことである。

(1)生活の支援 ～安心安全に正しく～

ア. 防災教育の実施

近年、日本国内で多発している地震や風水害などの自然災害や、特に今後 10 年以内の発生確率 30%とされている南海トラフ巨大地震など、日本での生活には防災の意識は不可欠である。にもかかわらず、2023 年に神戸市が実施した調査(対象：外国人 105 名、関連機関 98 団体)では、外国人留学生の生活上の課題に、「防災が課題とすら上がらなかったことが問題」という結果が示す通り、防災対策の必要性の高さと外国人留学生の防災の意識は大きく乖離している。一方で、母国の家族が災害の多い日本での留学生生活を心配しているという外国人留学生の声もよく聞く。そこで、以下の 3 点(a.b.c)を目的として、阪神淡路大震災を経験した神戸ならではの現実味のある防災教育を、地域を巻き込みながら実施する。

- a. 外国人留学生が災害を自分事と捉え、災害に備えるようになること
- b. 母国の家族にも安心してもらえるような、防災知識を身に付けたり、備えをすること
- c. 地域の方や機関に、兵庫国際交流会館には、時として災害弱者になり得る外国人留学生が多数在住していることを知ってもらい、地域の方と一緒に対策を考えること

○実施期間：2024 年度～2028 年度 毎年 1 回以上開催

○定員：各 30 名～100 名

○対象：外国人留学生・日本人学生・地域の方、行政・関係機関担当者

○連携先(案)：当コンソ加盟校、兵庫県、神戸市、JICA 関西、人と防災未来センター、HIA、兵庫県災害医療センター、兵庫県広域防災センター、ひょうごラテンコミュニティ、多文化共生センターひょうご、脇浜自治会、兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科、神戸市立葺合高等学校、神戸市立科学技術高等学校、兵庫県立舞子高校など

イ. 大阪出入国在留管理局神戸支局による定期的な在留資格の相談会の実施

在留資格の知識が欠如したために帰国を余儀なくされる外国人留学生や、就職活動の際、現在と今後必要な在留資格の内容やその申請方法が分からず不安な外国人留学生や、その支援者がいる。日本に定着したい留学生が、在留資格の知識不足でその可能性が奪われることがなく、また支援者がより安心して支援ができるよう、出入国審査官に気軽に相談できる機会を兵庫国際交流会館で定期的に提供する。

○実施期間：2024 年度～2028 年度

○対象：外国人留学生、在住外国人、大学や関係機関等の外国人留学生支援者
外国人採用企業担当者

○方法：月に 1 回、兵庫国際交流会館 1 階ナダコムステーションにて実施
対面、オンラインでの実施

○連携先(案)：大阪出入国在留管理局神戸支局、
外国人留学生採用ワンストップ相談窓口

ウ. 生活相談や医療相談の案内

当コンソ加盟校よりメンタルに支障をきたす外国人留学生が、近年顕著に増えているとの報告を受けている。原因はコロナ禍のオンライン交流の隆盛で、対面での交流が不足したことによる対人能力の未発達や、インクルーシブ教育の普及でかつてない多様な外国人留学生の来日により、複雑化する支援に人的、能力的に対応できていないことなどが挙げられる。

また外国人留学生の多くは体調不良の際、言葉や費用の目安が分からないなどの理由で、医療機関の受診を我慢すると聞く。このような現状を改善するため、外国人留学生や外国人留学生を支援する大学職員などに、医療機関の多言語オンライン診療(現在、実証実験中、当コンソ賛助会員企業が実施予定)や、多文化共生センターひょうごなど、外国人留学生に彼らの生活を支援する機関の存在を周知することで、外国人留学生の安全・安心な日本で生活を支援する。

○実施期間：2024 年度～2028 年度

○対象：外国人留学生、在住外国人、外国人留学生支援者

○方法：当コンソホームページでのリンク貼り付け、
本事業へ参加した外国人留学生へ案内、当コンソ加盟校教職員への周知、兵庫国際交流会館での掲示 等

○連携先(案)：HIA、多文化共生センターひょうご、医療法人星晶会、
特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター

(2) 外国人留学生を活用した国際理解教育事業

→外国人留学生の日本社会でのプレゼンスの向上と日本の中・高校生の海外志向の推進
ア.地域連携プログラム「英語村」(兵庫県国際交流会館内での英語プログラムの提供)

約 40 カ国・地域、約 200 人の留学生が居住する留学生寮である兵庫国際交流会館の特徴を活かした地域連携事業として、地域の小・中・高校生に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供する「英語村プログラム」を実施する。本事業において 2019 年度に開始した当プログラムは、兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会からの協力も得て、年々需要が増し、地元の中学・高校からも学校単位での開催依頼を受けるようになってきた。外国人留学生の資質を余すことなく活用したこのプログラムは、外国人留学生が中高生との交流を通して自身の地域での活躍を実感でき、彼らの日本社会でのプレゼンスの向上に繋がっている。

一方、日本の小・中・高校生が、英語が母国語でない多国籍の留学生と交流する機会は、貴重でかつ刺激が多く、彼らの英語学習のモチベーション向上と、海外留学への機運醸成に大いに貢献している。また、このプログラムを「Team gnavi」が主体的に企画・運営することで、彼らの多文化共生社会形成に必要な能力も育成する。

○実施時期：2024 年度～2028 年度。年 3 回以上開催(計 15 回以上)

○定員：各 20 人～50 人(プログラムにより異なる)

○対象：地域の小中高校生、保護者など

○連携先(案)：当コンソ加盟校、日本語学校、地域の小中高校

イ.大学との連携による共同事業

当コンソ加盟校等の教学プログラム(多文化理解・国際交流、グローバル人材育成等の科目)との協働により、日本人学生と外国人留学生の交流プログラム等を企画する。大学の教育活動のアウトリーチとしての本事業と兵庫国際交流会館の活用を融合させることで、大学間連携組織としてオンキャンパスとオフキャンパスの学びの還流を促進する。

○実施時期：2024 年度～2028 年度(年 1 回プログラム 4 コマ程度)

○定員：各 20 名～70 名(連携プログラムの内容により異なる)

○対象：外国人留学生・日本人学生等

○連携先(案)：当コンソ加盟校、研究機関等

ウ.兵庫県国際交流会館との連携による共同事業

a.兵庫国際交流会館の寮生（以下、「寮生」と記す）の交流研究発表会の参加勧奨

兵庫県国際交流会館には学士だけでなく、修士や博士課程の寮生が多数在籍しているのも当館の特徴である(寮生の約 8 割)。当館で定期的に行われている、修士や博士課程等の寮生が発表している交流研究発表会へ、地域の日本人学生・外国人留学生・高校生・地域の方々に多様な学修の機会として参加を促す。外国人留学生のワールドスタンダードなプレゼンテーションや活発な質疑応答は、参加者の学習のモチベーションやプレゼンテーションスキルの向上に繋がることが期待される。また、優秀な修士、博士課程の外国人留学生と触れ合うことで、日本人学生が影響を受け、海外留学や修士・博士課程への進学等の機運が高まることを副次的に狙う。

○実施時期：2024 年度～2028 年度(研究発表会の回数による)

○定員：若干名

○対象：日本人学生、高校生、外国人留学生、地域の方等

○連携先(案)：当コンソ加盟校、研究機関等

b.神戸まつりの参加や HIH 寮祭（仮称）の実施

昨年度より神戸市を代表する祭りである神戸まつりのパレードに、寮生と当コンソの日本人学生、外国人留学生とが共同で参加している。母国の旗を持った多様な外国人留学生と日本人学生と一緒にパレードする様子は、「これこそが国際都市神戸ならではの光景！」と神戸まつりの主催者をうならせ、観衆の歓声に参加した外国人留学生も「自分達が日本で歓迎されていることが実感でき、嬉しかった」と率直な感想を述べている。

神戸まつりでは、寮生と日本人学生が主体的に計画を立て、多様な人々が協働する際の、言葉や意図が伝わらない、意見が一致しない等の困難さに直面しつつも、それらを乗り越え、終了後は達成感に満ち溢れ大きな成果を確認できた。今後も神戸まつりの参加や、兵庫国際交流会館というハード面と、多国籍の寮生が多数在籍するというソフト面を活かし、大学等で実施されている学園祭のような雰囲気 of HIH 寮祭(仮称)を実施する。当コンソは、「Team gnavi」をはじめとするメンバーの HIH 寮祭実行委員会を結成し、

寮生と日本人学生の主体的な活動を支援し、地域の方々との交流の機会を提供する。(ただし、毎年、貴機構が実施されている JASSO 国際交流フェスティバルと内容や日程が被らないように注意する。)

○実施時期：2024 年度～2028 年度

○定員：20～100 名

○対象：寮生、地域の日本人学生、外国人留学生、地域の方等

○連携先(案)：兵庫国際交流会館、当コンソ加盟校、JICA 関西、HIA、地元の小中高校、その他地域の国際交流機関や日本語学校等

(3) 外国人留学生のキャリアサポート事業

優秀な外国人留学生が日本での就職を希望するにもかかわらず、叶えられない大きな要因は「早い段階での日本特有の就職活動や日本企業に対する理解不足や日本語能力を含めた就職に対する準備不足」だと言われている。また、企業も言葉、文化、価値観の相違、社内体制の未整備などの要因により留学生の採用に消極的な場合が多い。そこで本事業では高度外国人材として外国人留学生の日本の定着を目指し、早期から日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを知る機会を、多様化する外国人留学生の特性に合わせて提供する。

本事業は、外国人留学生、企業、支援者(大学キャリアセンター職員など)などと連携して取組むことで、相乗効果をもたらし、日本での就職を希望する外国人留学生自体の数を増やすと同時に、就職率の向上にも貢献することができると考える。同時に、グローバルに働きたい日本人学生も参加可能とし、日本企業や社会において、外国人と日本人という区別自体を無くす機運も醸成する。

また、外国人留学生の中で起業に関心のある学生の割合は、日本人のその割合に比べて高い。彼らに対しても、外国人留学生を対象とした起業家を助成する行政やジェット口等を繋いだり、情報を提供したりして、より多様な外国人材の日本での定着の支援を実施する。

【ねらい】

<外国人留学生向け>

- ・低年次からから日本の就職活動を知り、準備することを促す
- ・日本語学習・マナー習得・日本企業研究などのモチベーションを向上させる
- ・日本企業が留学生を求めていることを実感してもらう

<企業に向け>

- ・高度外国人材としての外国人留学生のポテンシャルを認知し、人手不足対策だけでなく、自社のイノベーション人材としても外国人留学生の採用を捉えでもらう。
- ・多くの外国人留学生が日本企業での就職を希望していることを実感してもらう。
- ・N1 保持の日本語が堪能な留学生から英語トラック留学生まで、多様な留学生が存在することを知ってもらう。

【実施イベント(案)】

- 使用言語は、英語、日本語、やさしい日本語、同時通訳等、イベントによって決定
- 外国人留学生のための日本の就職活動ガイダンス
 - 日本文化と企業文化を知る「日本的企業」セミナー（経営者、経営経験者による）
 - 企業訪問ツアー（外国人留学生採用に積極的な企業、多業種）
 - 日本企業と留学生の交流会（元留学生の先輩も交えて）
 - 日本ビジネスマナー研修、
 - 日本語力向上セミナー（N1,N2 対策など）神戸大学の gnavi 事業と連携する
 - 英語トラック対象の就職セミナー
 - 起業セミナー（外国人留学生向けの助成金の案内も含めて）

【当コンソとの連携】

- 留学生インターンシップ事業：本事業において広く参加者を募り、また、参加する外国人留学生を支援する
- 外国人留学生採用ワンストップ相談窓口：本事業の外国人留学生に紹介する
- 外国人留学生対象の合同企業説明会他、外国人留学生向けのイベントの案内

【その他】

- ハローワークや JETRO の利用の仕方、JASSO 就職活動ガイドの情報を周知する
- 実施期間：2024 年度～2028 年度 毎年 5 回以上開催(計 5 回以上開催)
- 定員：各 30 名～100 名
- 対象：外国人留学生・日本人学生・企業・行政・関係機関
- 実施方法：通常の学部留学生、英語トラック留学生、交換留学生、日本語学校の留学生など多様な留学生や、グローバル企業を目指す日本人学生に対応するために、回毎に提供テーマ、使用言語(英語・日本語・やさしい日本語)、対象企業、対象学生などを変えて実施する。
- 連携先(案)：企業、兵庫県、神戸市、公益財団法人関西経済連合会、関西高度外国人材地域活躍コンソーシアム、独立行政法人日本貿易振興機構、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県商工連合会、兵庫県中小企業団体連合会、神戸商工会議所、姫路商工会議所、尼崎商工会議所、神戸新卒応援ハローワーク、大阪新卒応援ハローワーク、一般社団法人外国人留学生支援ネットワーク、文科省国費留学生協会、全国大学コンソーシアム協議会、その他高等教育機関、地域の日本語学校等

3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global village(NGV)」の実施

→多様な背景に基づく価値観を持つ者が集い理解し合う場、将来に繋がる学びの場の創出
平成 28 年度から、兵庫県国際交流会館の寮生をはじめとする外国人留学生と地域の人々とのあらゆるジャンルの国際交流の取組を実施した「Nada Global village(NGV)」(計 75 回開催)は、人々の相互理解の涵養を促し、本事業の地域での認識は広まった。その成果として 2024 年度からは JICA 関西主催の「JICA 秋祭り」への出展や HIA から地域でのフェスティバル事業への共催の要請を受けている。地域での国際交流拠点としての活動は、今後も増々活発に

なる見込みであるため、「Nada Global village(NGV)」を継続開催する。

また、近年は多文化共生の概念は広がり続けており、従来の所属、国籍、文化、宗教の相違に加え、性的指向及び性自認、多様なライフスタイルなど、より多様な価値観を包摂する取り組みが必要である。本事業で「多様な背景に基づく価値観を持つ者が集い理解し合う場、将来に繋がる学びの場の創出する」ことで、外国人が安全・安心に日本で学び、暮らし続け、また、日本人の視野が海外へ広がることを促す。地域では外国人・日本人という区別をはじめ、あらゆる区別が解消されるような多文化共生社会の形成を推進する取組を幅広く展開する。そしてこれらの活動を外国人留学生、日本人学生等を構成員とする「Team gnavi」が主体的に企画・運営する。

○実施時期：2024 年度～2028 年度 年 8 回以上開催

○定員：各 20 名～300 名程度

○対象：外国人留学生、日本人学生、在住外国人、企業、一般の方

○テーマ(案)：多文化交流、日本文化理解、SDGs、文化人類学、国際情勢、性的指向及び性自認、キャリア形成、能力開発、思考整理、自分の研究分野など、外国人留学生、日本人学生が関心を持ちチャレンジしたい課題

○実施方法(案)：ワークショップ、セミナー、ディスカッション、フェスティバル
多国籍バスツアー、交流会等

○連携先(案)：HIA、JICA 関西、公益財団法人神戸国際協力交流センター(KICC)、特定非営利活動法人・国際社会貢献センター(ABIC)、全国大学コンソーシアム協議会、各国の外国人留学生協会、神戸情報大学院大学、コミュニケーション学院、その他高等教育機関、地域の日本語学校等、企業、行政、駐大阪・神戸米国総領事館

4. 外国人留学生支援・国際交流拠点としての

情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化

兵庫県国際交流会館を国際交流の拠点として機能を発揮するには、産官学と地域が連携し、地域全体で外国人留学生を育む環境整備が必要不可欠である。当コンソでは、平成 28 年度の本事業受託以来、着実に、外国人留学生支援者間ネットワークを構築してきた。引き続き、当コンソの産官学連携組織としての特徴を活かした、外国人留学生支援者間ネットワーク体制の強化と裾野を広げ、多方面へのアクティブな情報交換を実施し、また、課題発生時には迅速で柔軟性のある対応をする。

その他、日本政府、地方行政、経済・産業界、国際協力機関、大学、外国人留学生の母国、地域企業、一般市民方々などの動向や、国際情勢など、外国人留学生をとりまくあらゆる角度からの情報の把握に努める。

○実施期間：2024 年度～2028 年度 毎年 6 回以上開催

○対象：当コンソ加盟校教職員、外国人留学生、日本人学生、地域団体等の外国人留学生支援者行政、大阪出入国在留管理局神戸支局、神戸新卒応援ハローワーク

以上、これらの事業はコーディネーター主 1 人副 1 人を基本人員とし、アルバイト・学生補佐員を適宜活用して実施していく。

本事業のコーディネーターは以下を主たる業務とする。

- (1) 本事業におけるイベントの企画立案、運営、報告
- (2) 当コンソの他事業との連携やその他連携機関との関係維持と開拓
- (3) 「Team gnavi」が主体的に動くための活動支援、コーチング
- (4) 本事業全体の広報・動画制作等

外国人留学生の出身国・地域及び学生の所属大学に多様性があり、それらの枠を超えた交流が可能であるか。

兵庫国際交流会館で生活する約 40 か国・地域、約 200 名の留学生等の多様性を生かして、「多様な背景に基づく価値観を持つ者が集い理解し合う場、将来に繋がる学びの場」としてで上げた本事業のイベントを、会館 1 階交流スペースや多目的ホールを利用して定期的で開催する。これらのイベントには、これまでの本事業で、兵庫国際交流会館や当コンソの枠を超え、以下の機関からの多様な国籍の参加者があり、今後も継続して本事業での参加を見込める。

1．兵庫県内の参加者の所属機関

兵庫県内の大学院、大学、短期大学・高等専門学校及び専修学校で学ぶ留学生数は、8,367 人とされる。当コンソでは加盟校の外国人留学生、日本人学生合わせて 10.5 万人の学生が在籍している。加えて、周辺の日本語学校や大学院大学、HIA、JICA 関西、公益財団法人神戸国際協力交流センター(KICC)等とも強固な連携関係を築いており、これらの学校、各機関に属する外国人留学生や日本人学生にも情報を提供することができる。実際これまでの本事業において、これらの機関を経由で参加した外国人留学生は多数存在する。

2．全国からの参加者の所属機関

文部科学省国費留学生協会とも定期的に意見交換し良好な関係を構築しているため、当協会にも情報は届けられ、オンラインでの参加がある。また、関西地方に約 17% 在籍する国費留学生に関しては対面での参加も可能となっている。

その他、全国コンソーシアム協議会のネットワークを利用して、全国の外国人留学生にも情報を届けることができ、例年、キャリアイベントにはこのネットワークから広く全国、時に海外からも参加がある。

3．その他の地域の関係機関、

兵庫県内には、上述した機関の他にも、神戸定住外国人センター(KFC)、ひょうごラテンコミュニティ、多言語センター(FACIL)など、外国人支援に専門性と実績を有する団体が多数あり、それら団体とも情報共有、協力関係があり、今後はさらに活動内容や支援情報を共有していく。また、留学生交流や多文化共生に興味のある地域の方々にも、同様のネットワーク

で情報が届けることができおり、これまで本事業へ多数参加し、今後もしピーターや新たな参加者としての参加が見込まれる。

4．外国人留学生と日本人学生の個の繋がり

外国人留学生には所属大学や自身のコミュニティの枠を超え、興味や日本で実現したいことなどを軸として新たな人々と繋がり、日本での留学生生活を充実させるきっかけを提供している。日本人学生には自分の興味ある国、言語を話す外国人留学生との交流によって、語学学習や海外留学へのモチベーション向上に繋がっている。

外国人留学生、日本人学生、地域の方々が、自分達の所属の枠を超えて、多様性を包摂した安心、安全な交流が、兵庫県国際交流会館で実施する本事業の価値であり、引き続き関係先の開拓と協力関係の構築を進めていく。

5．アルムナイの繋がり

これまで本事業に参加した外国人留学生や日本人学生との縦の繋がりも徐々に生まれてきている。実際2年前にオンラインで海外から本事業に参加したことがきっかけで、この4月から兵庫県の大学院に留学に来た外国人留学生も出てきている。今後はこの繋がりも活かして、より多様な学生が本事業に参加することや日本留学への興味を喚起する。

地域の特性を活かし、創意工夫を凝らした取組。また、地域の関係機関との連携・協力がある場合、連携・協力体制が整備されているか。

1．大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」をビジョンとする「大学コンソーシアムひょうご神戸」

全国4位の大学集積都市である兵庫県の産官学連携機関として当コンソは、兵庫県と地域産業界(兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県中小企業団体中央会)とともに「ひょうご産官学連携協議会」結成し、大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」をビジョンとした、活動目標の1つに「“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援」を掲げ、活動している。

外国人留学生在籍数全国5位の兵庫県にある当コンソでは、大学を軸とした留学生交流を大規模に実施することができ、その過程で、地域の産業界、経済界を巻き込み、外国人留学生の定着を促進する土壌を醸成してきた。例えば、当コンソが15年間継続実施している留学生インターンシップでは、地元企業を中心に84社、612名の留学生が参加し、当コンソスタッフによる外国人留学生と企業への適切で丁寧なフォロー、研修の提供により、参加外国人留学生の6割以上が日本での就職を実現している。

また、この実績により2023年5月に兵庫県の受託事業として開設した外国人留学生採用ワンストップ相談窓口では、開設から約8カ月で外国人留学生からの相談が約140件、企業からの相談が約185件と、当コンソが地域の留学生と地域企業を繋ぐ場として行政、経済・産業界から認識されつつあることがいえる。

これら当コンソで実施している外国人留学生の直接的な就職支援と、本事業で実施する多

文化共生の切り口で行う多面的な外国人留学生支援を融合させた創意工夫した取組で、外国人留学生の深く、幅広い日本理解を促し、効果的に外国人留学生の日本定着を促進することができる。

2．地域の国際交流機関との連携

平成 28 年度からの本事業の実施過程で培われた協力関係から、2024 年 4 月 JICA 関西と HIA と「相互に緊密な連携・協力関係を築き、それぞれの専門性、資源を生かして協働することで、将来に向けた地域課題の解決や多文化共生社会づくり、兵庫県と世界の交流の拡大に寄与すること」を目的とした協定書を締結することになった。

これにより本事業においても、それぞれの組織の強み「当コンソ＝大学・外国人留学生」、「JICA 関西＝国際協力・外国人留学生」、「HIA＝地域住民・行政」を活かし、これまで以上に相乗効果を生み出す、事業展開が見込まれる。

3．地域の経済・産業機関や兵庫県などの地方公共団体、

地域の出入国管理局やハローワークなどの行政機関との連携

内閣府の「日本再興戦略改訂 2016」の「2025 年度末までに、日本の高等教育機関を卒業・修了した外国人留学生のうち、日本国内就職者の割合 50%を目指すという方針」等により、地域の産業・経済界や企業から当コンソへ、高度外国人材としての外国人留学生に関する意見照会や事業依頼が増えている。当コンソでは、兵庫県をはじめ、独立行政法人日本貿易振興機構神戸、公益財団法人関西経済連合会が事務局を務める関西高度外国人材地域活躍コンソーシアム、神戸商工会議所、尼崎商工会議所などの機関連携し、企業サイドでの外国人留学生の採用・定着支援を協働している。これらの機関に本事業で得た外国人留学生に関する知見や動向を還元する一方、本事業においてはこれらの機関との協働で得られた情報や人脈等を有効活用する。また、外国人留学生が安全・安心に正しく日本に滞在、定着できるよう、地域の出入国管理局やハローワークとも定期的に情報交換している。

4．兵庫国際交流会館の周辺地域の特長を活かした連携

兵庫国際交流会館は、神戸の中心部である各線三ノ宮駅から 1～2 駅と、アクセスが良いため、外国人留学生・大学生・企業などが会する場としての利便性は高い。また兵庫国際交流会館の南側には阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして開発された神戸市の東部新都心「HAT 神戸」が隣接しており、WHO 神戸センター、JICA 関西、など世界中から優秀な人材が集まる国際機関や国際交流に興味をもつ地域の方々が集まる HIA もあり本事業においても連携協力を得やすい状況にある。特に、防災教育については、人と防災未来センター、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科、兵庫県災害医療センターなども近接し、阪神・淡路大震災の教訓を活かし、外国人留学生に防災意識の向上を促し、防災関連情報の理解を深めるための取組みがしやすい。

5．兵庫国際交流会館で活動する諸団体との連携

兵庫国際交流会館内に事務局を置く当コンソには、多文化共生と国際理解に関心を寄せる加盟大学教職員、学生、公的機関の職員等が来訪することが多く、各種関係機関をつなぎ、

大学が地域の多文化共生活動に理解を深めるきっかけを提供してゆく。

さらに、兵庫国際交流会館で活動している RA(レジデント・アシスタント)やボランティア団体等とはすでに連携・協力体制を有しており、今後さらに本事業を有機的に繋ぎ、円滑な事業の実施を目指す。兵庫国際交流会館を取り巻く諸機関と連携し、活動の相互理解と実務者同士が日常的に事業活動についての情報提供や意見交換をできる関係づくり引続き行っていく。

口事業の実施により、多国籍の外国人留学生及び日本人学生並びに国内外の研究者(以下総称して「外国人留学生等」という)、地域住民等に与える具体的な効果。

1．外国人留学生等に与える効果

大学内の同質性が高い学習環境と異なる場で、専門分野も世代も国籍も異なる他大学の外国人留学生や日本人学生、地域住民を含む社会人との出会いは、外国人留学生等にとっては視野を広げ、日本社会や異文化やことばへの興味や理解力を高めることができる。

これまでの本事業の参加学生の中には、イベントの1参加者にとどまることなく、「Team gnavi」に加入し自発的に企画者となり、自分がやってみたい企画を実現したり、留学生等をサポートしたりする外国人留学生や日本人学生が現れた。当コンソのコーディネーターは彼らの伴走者として支援した。外国人留学生等が兵庫国際交流会館を自分が成長できる学び場として積極的に活用したり、大学外の地域社会での仲間づくりや自らの専門分野のアウトプットの場として活用したりする過程で、多様なメンバーと関係性を築き、合意形成を得て物事を創り上げる力、それを広報展開する力の向上が効果として期待される。

日本人学生には外国人留学生との協働により海外への機運を高め、かつ海外でも活躍できる能力を身に付けられる。また、本事業を代表して広報を担当する外国人留学生等には、社会的影響力のある責任ある仕事を担っているというやりがいを提供できる。

2．外国人留学生に与える効果

外国人留学生に安全安心に留学生活を送るための支援や、地域社会で外国人留学生を活用して日本でのプレゼンスを向上させる取り組みを実施することで、外国人留学生に「日本に住み続けたい」と思わせ、卒業後の選択肢に日本での就職が加わる効果を期待する。

日本での就職を希望している外国人留学生には、企業や日本人学生と交流しながら、日本型雇用や就職活動の理解や日本語力やビジネスマナー習得の必要性を早期に理解する機会を提供することで、効果的に日本での定着を促進する効果を期待する。

外国人留学生に対し、企業や経済・産業界を巻き込み、全人的な視点から支援を行うことにより、就職後も留学生自身が自らのキャリアを長期的に考え、自身の能力や個性を生かしつつ日本の社会・企業の一員として活躍できるような姿勢を持たせる効果を期待する。

3．地域住民等に与える効果

本事業のさまざまなセミナー・ワークショップ・交流会等に参加する地域住民や企業・団体の方に、まずは兵庫国際交流会館に多国籍の寮生が住んでいることを知ってもらおう。彼ら

との交流で個人や企業に様々な刺激を与え、行動変容のきっかけを提供する、近くに住んでいる留学生等との心理的距離が近づくことで、災害時にも助け合える関係性を構築できることを期待する。地元企業が外国人留学生の採用や支援にかかわることで、企業の国際性や多様化を促進されることが期待される。

以上、兵庫国際交流会館とその周辺を名実ともに地域の多文化共生のトップランナーとして、外国人、日本人のみならず、多様な人々が区別されることなく活躍できる場、マインドを醸成する場とし、ここに集った人々がこの場で培った能力を、学校、地域、企業、海外で発揮し、周囲に波及させることを目指す。

事業実施の対象となる外国人留学生等、地域住民等への周知計画。

本事業の対象となる留学生等や地域住民等への周知は重要であり、広報活動が本事業の成否に大きく関わるため、積極的に展開を図る。これまでの本事業で実施してきた、「イベントの参加者を増やすための広報」に加えて、「兵庫国際交流会館が地域の国際交流が拠点ということも多くの人に認知してもらうための広報」も重要だと感じている。

具体的には、「集客のための広報」と「活動周知のための広報」の2種に分けて実施し、顕在化しているニーズに応えるだけでなく、潜在的にある人々のニーズを掘り起こすような広報を行う。

1. 集客のための広報

イベント企画者が、イベント前に広報の内容制作と工程管理して広報を実施する。多様性を掲げる本事業の内容は多岐に渡っており、届けたい相手、内容、タイミングが異なる。企画者のおもいと、参加者の目線とを合わせた効果的な広報を臨機応変に実施し、一人でも多くの参加者の獲得に繋げる。

○発信者：当コンソスタッフ、学生スタッフ

2. 活動周知のための広報

イベント参加者が、イベント後の活動報告や、本事業と間接的に関係するテーマの投稿を実施する。兵庫国際交流会館の活動に対して、「おもしろそう」「へえ～こんなことをやっているんだ」「自分が参加できそうなものがあったら行ってみたい」などの好奇心を掻き立たせることにより、潜在的な参加者の獲得に繋げる。

○発信者：イベント参加者(学生広報部隊、Team gnavi、その他参加者)、
当コンソスタッフ

いずれの広報も、参加者や外国人留学生等の目線が重要であるため、学生広報スタッフなどを募集し、積極的にその役割を担ってもらう。またイベント時には、休憩時間や終了時に当コンソのSNSのQRコードを参加者に提示、同意を得て、その場でSNSをフォローしてもらうように働きかけることで、当コンソのフォロワーを増やす。

3. 広報の方法

以下のような媒体や方法を駆使して、広く深く正しい情報伝達に務める。

- ・当コンソホームページにて掲出
- ・当コンソ加盟校の担当窓口(国際交流・学生支援・キャリアセンター等)を通じて、各大学内での掲示・学生向けポータルサイト等への掲出
- ・兵庫国際交流会館の掲示板にイベントチラシを掲出
- ・参加者層の利用頻度が高いソーシャルネットワーク(SNS)に掲載
Instagram、Facebook、X、TikTok、LinkedIn、LINE、WhatsApp など
- ・当コンソメールマガジンに配信（２種類ある）
「当コンソの学長、理事長をはじめとする教職員、関与先企業・機関対象」
「当コンソ外国人留学生、日本人学生、一般等、国際交流事業会員」
- ・学生広報スタッフ、「Team gnavi」メンバーの SNS に配信
- ・関係機関メールマガジンに配信

例：JICA 関西、HIA、KICC、JETRO 神戸、神戸・尼崎・姫路商工委会議所、その他経済団体等

- ・本事業に関わるボランティア団体に発信
- ・全国コンソーシアム協議会への各都道府県コンソへの周知依頼
- ・日本語学校や専門学校への学生周知依頼
- ・文科省国費留学生協会への学生周知依頼
- ・各国外国人留学生協会への学生周知依頼
- ・一般社団法人留学生支援ネットワークへの学生周知依頼
- ・プレスリリース
- ・帰国留学生のアルムナイグループへの周知依頼
- ・事業毎に関係性を構築できた関与先への周知
- ・各イベント終了時に、次のイベントを告知する
- ・兵庫国際交流会館の新入寮オリエンテーションの最後のパートで、寮生活、日本滞在を充実させるオプションの１つとして本事業の説明やイベントを寮生に告知する

以上、組織レベルでの大規模な周知と個人レベルでの地道な拡散を、広報内容によって使い分けて実施する。組織への働きかけの際には、情報を投げっぱなしにするのではなく、担当者への電話などでのフォローアップを心がけ、より効果が上がるように工夫する。また、これらの広報を関係機関に依頼する際には、関係機関にとっても、「メリットになる事業かどうか？」を見極めた上で案内したり、情報交換したりして、良好な関係の維持に細心の注意を払う。そして、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業を持続可能な事業とするため、全ての人、関係機関に対し、本事業への理解促進と信頼関係を深めることにつとめる。

必要に応じ、企画提案書の内容を表す別添資料(図表等)を様式任意で提出すること。

2．再委託に関する事項

申請機関以外に支出の予定がある場合のみ記載のこと。

再委託機関の住所及び氏名	
再委託を行う業務の範囲	
再委託を行う理由	

3．事業の実施に係るコンプライアンス体制及びリスク管理体制

別紙(様式自由)にて記載のこと。

4．過去5年以内の国際交流事業等の実績

別紙(様式自由、1枚程度)にて記載のこと。

5．日本学生支援機構との事業実施連絡担当者(氏名・職名・電話番号・FAX・e-メール)

氏 名	機関名・職 名	所在地・電話番号・FAX・e-メール
(実施責任者) 中井 伊都子	一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸・理事長	兵庫県神戸市中央区脇浜町一丁目2番8号 兵庫国際交流会館1階 電話番号 078 (271) 0233 FAX 078 (271) 0244 e-メール info@consortium-hyogo.jp
(実施担当者) 鈴木 真紀子	一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸・次長	

上記 ～ の各項目については、必要に応じ記載箇所の幅を調整すること。

これらに加え、「申請機関の組織及び事業の概要(パンフレット等)」を提出すること。また、申請機関が一般社団法人若しくは一般財団法人である場合、法人が公益性を有していることを確認するため、その定款及び直近の財務諸表についても提出すること。

兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 予算計画書

1. 事業の予算計画(総括)

(単位：円)

費 目	種 別	内 訳	支出予定額
人件費	賃金	常勤職員2名賃金	31,200,000
	人件費附帯経費	常勤職員2名社会保険料等、通勤交通費	7,740,000
	小 計		38,940,000
事 業 活動費	諸謝金	講師謝金、通訳謝金、学生補佐員謝金	4,450,000
	旅費	日常活動旅費、講師・学生活動旅費	255,000
	貸借料	パソコンリース料、複合機リース料、 貸切バス代	2,120,100
	消耗品費	コピー用紙、参考図書、名刺、文具・ イベント備品	417,200
	会議費	お茶代等	112,500
	通信運搬費	Wi-Fi利用料、オンラインストレージ利 用料、携帯電話料、Zoom利用料	898,200
	業務委託費	ホームページ管理制作費、動画・広報P R制作費、振込手数料	932,000
	小 計		9,185,000
合 計			48,125,000

経費及び積算内訳については、すべて直接経費で計上すること。一般管理費等の間接経費については計上を認めない。

費目については、「経費計上の留意事項等」(別紙2別添)にて確認の上、作成すること。

事業が複数年度にわたる場合は、各年度の単年度分も併せて作成すること。

国際協力機構関西センター、大学コンソーシアムひょうご神戸及び 兵庫県国際交流協会による連携と協力に関する協定

独立行政法人国際協力機構関西センター、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、及び公益財団法人兵庫県国際交流協会の３つの機関（以下、「３機関」という。）は、次のとおり連携と協力に関する協定（以下、「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第１条 本協定は、３機関が相互に緊密な連携・協力関係を築き、それぞれの専門性、資源を生かして協働することで、将来に向けた地域課題の解決や多文化共生社会づくり、兵庫県と世界の交流の拡大に寄与することを目的とする。

（連携・協力分野）

第２条 前条の目的を達成するため、３機関のすべて、またはいずれか２つの機関が、以下の分野で必要に応じて連携と協力を図る。

（１）県内の大学生等を中心とする若者の国際貢献、グローバル社会への挑戦の促進

（２）県内の外国人留学生の地域社会とのつながり・関わり合いの深化と卒業後の県内での長期的な活躍、県内定着の促進

（３）県民の国際理解と県内の多文化共生社会づくりの促進

（４）その他、上記に関連する分野

２ 前項を実施するにあたり、協議の上、必要に応じて第三者へ参画を求めることができる。

（確認事項）

第３条 ３機関は、本協定の締結が、３機関以外の第三者と連携・協力することを妨げるものではないことを確認する。

（費用）

第４条 第２条に係る連携・協用に要する経費は、協議の上、分担する。

（有効期間）

第５条 本協定の有効期間は、締結日から 2025 年 3 月 31 日までとする。

２ 前項の有効期間内にかかわらず、解約予定日の 1 か月前までに書面により、構成する他の 2 機関へ通知することにより、本協定を解約できるものとする。

３ ３機関のいずれから書面による解約の意思表示がない場合は、第 6 条に定める 3 機関による連携と協用の実績及び内容の共有を行っ

た上で、本協定は自動的に 1 年間更新されるものとし、以後も同様とする。

（連携・協力の共有・協定内容の改訂）

第 6 条 3 機関は、協定の有効期間満了前の時点において、同時点までの連携協力の実績及び内容について共有する。

2 当該共有結果に基づき、本協定に改訂が必要であると認められる場合は、3 機関で協議し、合意を図るものとする。

（守秘義務）

第 7 条 3 機関は、第 2 条第 1 項の実施に当たって知り得た機密を、当事者の承認を得ないで他に漏らしてはならない。ただし、第 2 条第 2 項に定める第三者に対して、同条第 1 項の目的達成のため、必要最小限の範囲内で情報提供する場合を除く。

2 第 2 条第 2 項に定める第三者にも、前項同様の守秘義務を求めるものとする。

（疑義等の決定）

第 8 条 本協定に定めのない事項又は本協定に関して疑義を生じた事項については、3 機関が協議の上、別途定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書 3 通を作成し、3 機関において記名押印の上、各自 1 通を保管するものとする。

2024 年 3 月 29 日

独立行政法人国際協力機構 関西センター
所長 木村 出

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中井 伊都子

公益財団法人兵庫県国際交流協会
理事長 早金 孝

委員長校	兵庫県立大学
副委員長校	神戸市外国語大学
委員校 (全:26校) ※2024年度 登録大学	明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
取組1	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数 2500名以上/5年
活動指標	参加者数 500名以上/年
取組2	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数 10件以上/5年
活動指標	プログラム数 2件/年

目的

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

予算額	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進	
	【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
	【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
		9,625,000円
		50,000円

期待される効果

1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。
2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がることが期待される。
また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。

【2024年度 国際交流委員会 事業計画(⑤取組1)】(案)

課題⑤	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進	
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数 2500名以上/5年	
課題を解決する 取組概要	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業。 本事業を通して、兵庫国際交流会館が多文化共生社会の実現に向けた取組を行う地域の拠点として認知されることを目指す。	
活動指標	参加者数 500名以上/年	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
【趣旨】兵庫国際交流会館において「大学連携・産官学連携による人材育成」と「外国人留学生の受け入れから日本定着までの幅広い支援」によって、多様な人々が安全・安心に暮らし、互いに個人の尊厳と人権を尊重しながら、能力を最大限に発揮できる多文化共生社会の実現を推進すること。 1. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team gnavi」の活動を実施する。 ・ファンリテーション、SNS等の研修 各講座10～15名程 2. 高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア:防災教育の実施 [年1回以上、30名～100名] イ:大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 ウ:生活相談や医療相談機関の案内 (2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア:地域連携プログラム「英語村」 [年3回以上、各20人～50人] イ:大学との連携による共同事業 [年1回4コマ程度実施、各20名～70名] ウ:・兵庫県国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨 ・神戸まつりやHHH祭(仮)の実施 [各年1回、各20～100名] (3)外国人留学生のキャリアサポート事業 日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを知る機会を提供する。 [5回以上開催、各30名～100名] 3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global village(NGV)」の実施 [年8回以上開催、各20名～300名程度] 4. 情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 [毎年6回以上開催]		
達成目標に対する実績		
活動指標に対する実績		
自己評価基準:対到達目標 ※		—
自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
9,625,000				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※ 自己評価基準: 対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準: 対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
--------------------	--	-------------------	--

【2024年度 国際交流委員会 事業計画(⑤取組2)】(案)

課題⑤	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進	
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数 10件以上/5年	
課題を解決する 取組概要	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学大学) ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	
活動指標	プログラム数 2件/年	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
①学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 【アメリカ・ネパール 医療検査コース】 先端医療技術を用いて高度な医療を提供しているにも関わらず、高額医療費故に十分な医療を受けられない人もいるアメリカ。日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパール。 文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。 【実施期間】 アメリカコース :2024 年 9 月 13 日(金)～9 月 23 日(月)の予定 ネパールコース:2024 年 9 月 2 日(月)～9 月 11 日(水)の予定 【参加費用】 アメリカコース 35～45 万円程度 ネパールコース 25～35 万円程度 ※為替レートによって変動する場合あり 【オーストラリア 看護コース】 世界でも有数の医療福祉先進国と言われているオーストラリアで、医療福祉施設の視察や現地で働く看護師さん達との交流、看護大学での学習体験など、自らの目で見て体で感じる体験型プログラム。 【実施期間】 2024 年 9 月 9 日(月)～9 月 17 日(火)の予定 【参加費用】 35～45 万円程度(航空運賃、宿泊費、研修費、食事代、現地での交通費等含む) ※為替レートによって変動する場合あり		
②各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム ○自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることが期待されるプログラム ○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム		
達成目標に対する実績		
活動指標に対する実績		
自己評価基準:対到達目標 ※		—
自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
50,000				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 国際交流委員会 事業予算】(案)

参考資料1

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			【取組1】		【取組2】			
			兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業)		加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業			
			内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
収入	会費収入	50,000				50,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	9,625,000	JASSO受託事業収入	9,625,000				
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	9,775,000	9,625,000		50,000		100,000	
支出	会議費	100,000	会議費	80,000			会議費	20,000
	旅費交通費	140,000	旅費	100,000	旅費交通費	20,000	旅費交通費	30,000
	通信運搬費	70,000	郵便、通信費	50,000			通信運搬費	20,000
	消耗品費	50,000	消耗品費	50,000				
	新聞図書費	10,000	新聞図書費	10,000				
	印刷製本費	30,000			印刷製本費	30,000		
	光熱水料費							
	賃借料	40,000	賃借料	40,000				
	保険料		保険料					
	謝金	1,191,000	諸謝金	1,161,000			謝金	20,000
	租税公課							
	支払手数料	22,000	振込手数料	22,000				
	諸会費							
	委託費	852,000	HP制作費・業務委託	852,000				
	人件費	7,260,000	コーディネーター	7,260,000				
	接待交際費							
	支払支援金							
	雑費	10,000					雑費	10,000
	計	9,775,000	9,625,000		50,000		100,000	

収入-支出

0

			令和6年度											
			前期				中期				後期			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進	【取組1】 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	1. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成	Team G-Navi 結成!!	ファシリテーション 演習 4回(5月～6月)	動画演習 4回(6月～7月)									
		2. 高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア.防災教育の実施 イ.在留資格の相談会の実施(大阪出入国在留管理局神戸支局による) ウ.生活相談や医療相談の案内	大阪出入国在留管理局神戸支局無料相談会 通年毎月第2水曜日(4月～6月) 生活相談、医療相談											
												防災セミナー		
		(2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア.地域連携プログラム「英語村」(兵庫県国際交流会館内での英語プログラムの提供) イ.大学との連携による共同事業 ウ.兵庫県国際交流会館の寮生との連携による共同事業	神戸まつり 4月21日 寮生とウオーク 寮生・地元小学生・加盟校学生(連携) HIH 加盟校学生、地域の団体			英語村3回 (うち1回HIH寮祭? ? Or JICA秋祭り) 姫路国際交流協会と共催		甲南女子レッツトゥーグ(9～12月)	うち1回HIH寮祭Or JICA秋祭り					
		(3)外国人留学生のキャリアサポート事業			キャリア支援	キャリア支援 文化・ビジネスマナー	キャリア支援 起業?			キャリア支援 企業との交流会			キャリア支援 get ready	
		3. 多文化共生社会の実現を推進する事業「Nada Global village(NGV)」の実施		キャリアカフェ NGV(第1回)	キャリアカフェ NGV(第2回)	キャリアカフェ NGV(第3回)			キャリアカフェ NGV(第4回)	キャリアカフェ NGV(第5回)	キャリアカフェ NGV(第6回)	キャリアカフェ NGV(第7回)	キャリアカフェ NGV(第8回)	
		4. 外国人留学生支援・国際交流拠点としての情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化	①第1回 事業委員会開催(対面開催) ②HIH、JICAとの定期協議(1回目)						第2回事業委員会開催	HIH、JICAとの定期協議(2回目)	第3回事業委員会開催		①第4回事業委員会開催 ②HIH、JICAとの定期協議(3回目)	第5回事業委員会開催
	【取組2】 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進	学生派遣プログラム(単位互換事業) 神戸常盤大学	説明会					海外学生派遣プログラム アメリカ・ネパール 医療検査コース オーストラリア看護コース						

留学生の①医療相談②生活支援③在留資格相談について

①医療相談

- 1) 実施機関：医療社団法人星晶会（当コンソ賛助会員企業）
 - ・昭和**56年(1981年)**創設。
 - ・伊丹市を中心に透析医療を中心に地域密着型の医療・介護施設を運営（医療**6施設**・介護**5施設**・保育**1施設**）
 - ・ウクライナ避難民支援や外国人雇用・育成などの国際事業も展開中
- 2) オンライン医療相談は以下の**2種類**がある
 - a:多言語診療 = カルテの作成が必要
カルテを作成のため健康診断など1回は受診が必要。受診後オンライン多言語診療の受診が可能。
 - ・健康診断費用約**4,000円**
 - ・団体**30名以上**の場合、検診車の利用も可能（1台**38,000円**）
 - b:多言語看護師相談 = カルテの作成が不要
看護師へのオンライン医療相談の際、同法人スタッフの言語サポートが受けられる
 - ・サポート言語：英語、中国、ベトナム、ミャンマー、ネパール、インド
 - ・1回**500円**+オンラインシステム利用料**1,500円**（会話内容の記録システム）

②生活支援

兵庫国際交流協会(多文化共生センターひょうご)をはじめ、他機関の支援情報を留学生へ発信

[illegible]

③在留資格相談（大阪出入国在留管理局神戸支局による無料相談会）

主催：大学コンソーシアムひょうご神戸
場所：兵庫国際交流会館Nadacom stationにて実施
日時：毎月第水曜日13：00～16：00
形式：対面・オンライン・電話
対象：留学生、大学教職員、企業
申込：大学コンソーシアムひょうご神戸

申込ORコード→



入国審査官

ISA

による**無料**

ざいほうしゅ かくくうてんごう

在留資格相談会

- 外国人のみならず、**日本であらゆる人**について、
 - ☑ 学び続ける
 - ☑ 就職する・企業が外国人材を受け入れる
 - ☑ 生活する

ために必要な**在留資格**について、
大衆出入国在留管理施設 神戸支所の**入国審査官に、無料で相談**できます。
 ともに働いてください。(英語で相談もできます)

**FREE Consultation of
“Status of Residence”
for International students
& foreign residents
by the Immigration Inspector.**

You can consult with **Immigration Officers from Immigration Services Agency of Japan, Kobe District Immigration Services Office**, free of charge, regarding the necessary **Status of Residence** for

- ✓ Keep studying
- ✓ Working
- ✓ Living

in Japan with safe. Feel free to ask them any questions you may have.
(English is available)

●白元、福岡

毎月第2水曜日、13:00~16:00

相談できる場所

対面：入国審査官1名、Nadacom station
 もしくは、オンライン（Zoom）

●相談の申し込み

QRコード

予約のうえですが、
予約なくてもOK

●連絡先・質問

Tel : 078 - 271 - 0233
 E-mail : one-stop@consortiumhyogo.jp
 (English is available)

●主催

大阪出入国在留管理施設 神戸支所
 ・有明大学 学生留学サポートセンター 経営学部
 （大東文化大学との共同開催）



To tell forter residents
Special Announcement

2024年度夏 大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム

フィールドワーク型プログラムとは

先端医療技術を用いて高度な医療を提供している「アメリカ」
日本と比較して医療施設や保健施設が整っていない「ネパール」
自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラムです。
また、単位互換制度を利用して単位認定を受けることもできます。

注) 本プログラムは神戸常盤大学の選択授業である、国際保健医療活動IIを開放科目として提供しています。
各国・各コースへ神戸常盤大学生の参加が履修規定者数未満の場合、該当コースのみ開催しないことがあります。

今しかできない経験を
世界を知る、広げる可能性

2024年9月実施 医療検査コース

医療系プログラムフィールドワーク型 学生海外派遣プログラム



説明会

4月6日(土)

10:40～

【申込方法】メール件名「コンソ海外研修説明会申込」とし、本文に大学名、学部、学年、氏名を記載の上、問い合わせ先メールアドレス宛にお申込みください。

【申込締切日】4月5日(金) 16:00まで

【問合せ先】gcc@kobe-tokiwa.ac.jp

提供校：神戸常盤大学

2024 年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム 募集要項

神戸常盤大学保健科学部医療検査学科

国際保健医療活動 II アメリカコース・ネパールコース

募集要項

先端医療技術を用いて高度な医療を提供しているにも関わらず、高額医療費故に十分な医療を受けられない人もいるアメリカ。日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパール。文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラムです。

1. 実施期間

アメリカコース：2024 年 9 月 13 日（金）～9 月 23 日（月）の予定

ネパールコース：2024 年 9 月 2 日（月）～9 月 11 日（水）の予定

2. 参加費用

アメリカコース 35－45 万円

ネパールコース 25－35 万円

3. 募集人数

若干名

4. 参加資格・要件

- ・対象学科は臨床検査学科(臨床検査技師)
- ・大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- ・所属大学において日本の医療および他国の医療について基礎的な知識を学んでいること
- ・英語力証明の提出は不要だが、現地でコミュニケーションをとる英語力は必要
- ・事前・事後研修への参加、レポートの提出
- ・希望者数によっては開講しない場合もあります。

5. 研修概要

単位数：1 単位(大学コンソーシアムひょうご神戸の単位互換制度対象科目)

※研修内容の詳細については別紙をご覧ください。

6. 説明会

4 月 6 日（土）10:40～12:10 神戸常盤大学にて

7. 説明会申込方法

gcc@kobe-tokiwai.ac.jp までメール件名「コンソ海外研修説明会申込」とし、本文に大学名、学部、学年、氏名を記載の上、お申込み下さい。説明会にて研修申込方法をお知らせします。

8. 選考方法

参加希望理由書をもとに選考

令和6年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム

神戸常盤大学保健科学部医療検査学科：国際保健医療活動 II

アメリカコース

■往路 9月13日大阪発—9月14日アメリカ着

■往路 9月22日 アメリカ発—9月23日大阪着

9月13日（金）	伊丹空港または関西空港集合
9月14日（土）	アメリカ到着：経由地の待ち時間を利用し、病院訪問の可能性有り
9月15日（日）	現地オリエンテーション
9月16日（月） ～ 9月20日（金）	ミシガン州立大学 Michigan State University(MSU) 臨床検査専攻 Biomedical Laboratory Diagnostics Program (BLD) 学生との交流 MSU の教育医療機関、研究所での研修
9月21日（土）	研修振り返り
9月22日（日）	早朝現地発
9月23日（月）	伊丹空港または関西空港にて解散

*訪問予定先の都合により、訪問先の変更や日程が変わることがあります。

主となる研修先

Michigan State University, Biomedical Laboratory Diagnostics Program
354 Farm Ln Room N 322, East Lansing, MI 48824 電話：+1 517-353-7800

宿泊予定先

Clarion Pointe East Lansing University Area
2736 E Grand River Ave, East Lansing, MI 48823 電話：+1-517-337-1621
ベッドが2つある部屋へ2人で相部屋利用（個室希望の場合は追加料金）
朝食付き、館内無料Wifi有り。

参加費用：35－45万円

- ① 学生個人の実費相当分のみ、参加者確定時点の為替レートで航空券、宿泊費等の価格で予約し、現時点は大凡の金額となります。
 - ② 航空券、宿泊費(朝食込)、施設訪問費用を含む。
 - ③ 帰国後、上記費用を精算後に残金を返金致します
- 注：上記以外に海外旅行保険にも各自で加入をお願いします。

令和6年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム

神戸常盤大学保健科学部医療検査学科：国際保健医療活動 II

ネパールコース

■往路 9月2日 大阪発—9月3日カトマンズ着

■往路 9月10日 カトマンズ発—9月11日大阪着

9月2日(月)	関西国際空港 14:00 集合 大阪 17:35 発→バンコク 21:25 着(TG673)	バンコク泊
9月3日(火)	バンコク 10:15 発→カトマンズ 12:25 着(TG319)	カトマンズ泊
9月4日(水)	Shiba-Kuti 研究所 ライ先生の講義・医療技術系大学にて学生との交流	カトマンズ泊
9月5日(木)	Aedes 幼虫採集、採水、水質検査試験	カトマンズ泊
9月6日(金)	水質検査試験、DNA抽出、ネパール医科大学病院見学	カトマンズ泊
9月7日(土)	バクタプル、ナガルコットへ陸路移動、 アンケート調査等見学	カトマンズ泊
9月8日(日)	ナガルコット、チャングナラヤン、カトマンズへ陸路移動 資料整理・標本作製	カトマンズ泊
9月9日(月)	資料整理・自由行動	カトマンズ泊
9月10日(火)	カトマンズ 13:30 発→バンコク 18:15 着(TG320) バンコク 23:59 発→(TG622)	機中泊
9月11日(水)	→大阪 07:00 着 関西国際空港 08:30 頃解散	

*訪問予定先の都合により、訪問先の変更や日程が変わることがあります。

(現地指導者) Prof. Shiba Kumar Rai :

Shi-Gan Health Foundation / Nepal Medical College

(宿泊) カトマンズ：フジホテル、(航空会社) タイ国際航空、(2024.3.25.現在)

[TEL:010-977-1-4229234](tel:010-977-1-4229234) fujihotel@wlink.com.np

参加費 25－35 万円

- ① 学生個人の実費相当分のみ、参加者確定時点の為替レートで航空券、宿泊費等の価格で予約し、現時点は大凡の金額となります。
- ② 航空券、宿泊費(朝食込)、施設訪問費用を含む。
- ③ 帰国後、上記費用を精算後に残金を返金致します

注：上記以外に海外旅行保険にも各自で加入をお願いします。

2024年度 大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム

2024年9月実施 オーストラリア看護研修

自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラムです。
また、単位互換制度を利用して単位認定を受けることもできます。

今しかできない経験を
世界を知る、広がる可能性



Gosford Hospital



University of New Castle, Gosford



ナイチンゲール博物館

説明会

4月6日(土)10:40~

申込方法

メール件名「コンソ海外研修説明会申込」とし、本文に大学名、学部、学年、氏名を記載の上、問合せ先メールアドレス宛にお申込みください。

申込締切 **4月5日(金) 16:00まで**

問合わせ先 gcc@kobe-tokiwa.ac.jp

注) 本プログラムは神戸常盤大学の選択授業である、国際保健医療活動IIを開放科目として提供しています。各国・各コースへ神戸常盤大学生の参加が履修規定者数未満の場合、該当コースのみ開催しないことがあります。

提供校: 神戸常盤大学

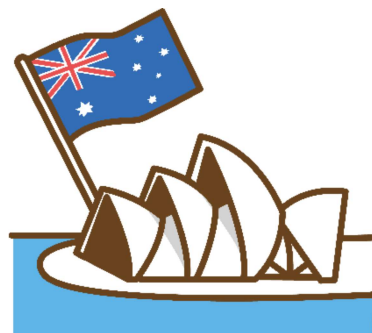


2024 年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム募集要項 ～オーストラリア看護研修～

提供校 神戸常盤大学

オーストラリアは、世界でも有数の医療福祉先進国といわれています。医療サービスや介護・福祉の設備などが充実し、看護教育においても質の良い独自の教育制度が設けられています。また、多民族・多文化の国家であるオーストラリアには、異文化理解力を身につけることのできる環境が整っています。

本研修では、医療福祉施設の視察や現地で働く看護師さん達との交流、看護大学での学習体験など、自らの目で見えて体で感じる体験型プログラムを提供しています。また、ナイチンゲール博物館の見学や世界遺産巡りなど、オーストラリアの雄大な自然や文化にふれられるのも魅力です。



1. 実施期間

2024 年 9 月 9 日(月)～9 月 17 日(火)の全 9 日間(予定)

※スケジュールの詳細については別紙をご覧ください。

2. 参加費用

35-45 万円程度(航空運賃、宿泊費、研修費、食事代、現地での交通費等含む)

※為替レートによって変動する場合があります。

3. 募集人数

若干名

※本学の学生とあわせて 8 名未満の場合は開講しないこともあります。

4. 参加資格・要件

- ・ 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- ・ 他国の医療・看護に興味・関心がある看護学生
- ・ 事前事後の研修会、帰国後の全体での発表討論会に参加できる者
- ・ 語学(英語)力は問いませんが、より積極的にコミュニケーションを図る意欲のある者

※研修では現地で働く日本人看護師の充実したサポートが付いています。

5. 研修概要

単位数: 1 単位(大学コンソーシアムひょうご神戸の単位互換制度対象科目)

※研修内容の詳細については別紙をご覧ください。

6. 説明会

4 月 6 日(土) 10:40～12:10 神戸常盤大学にて

7. 説明会申込方法

gcc@kobe-tokiwa.ac.jp までメール件名「コンソ海外研修説明会申込」とし、本文に大学名、学部、学年、氏名を記載の上、お申込み下さい。説明会にて研修申込方法をお知らせします。

8. 選考方法

参加希望理由書をもとに選考

令和 6 年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム
神戸常盤大学保健科学部看護学科「国際保健医療活動 II」
オーストラリア看護研修 実施要項

■往路 9月9日（月）大阪発（21:00）― 9月10日（火）シドニー着（07:35）
 ■往路 9月17日（火）シドニー発（10:20）― 9月17日（火）大阪着（19:00）

9月9日（月）	関西国際空港発	機中泊、機内食
9月10日（火）	シドニー・キングスフォード・スミス国際空港着 研修地の Gosford へ移動 現地オリエンテーション	ホテル泊 朝食・昼食・夕食
9月11日（水）	看護大学での研修プログラム参加・看護学生との交流 訪問施設：University of New Castle, Gosford	ホテル泊 朝食・昼食・夕食
9月12日（木）	高齢者介護施設の視察ツアー 訪問施設：Bluewave Living / Hillview Nursing Home	ホテル泊 朝食・昼食・夕食
9月13日（金）	州営の公立病院での研修プログラム参加・看護師との交流 訪問施設：Gosford Hospital	ホテル泊 朝食・昼食・夕食
9月14日（土）	Gosford からシドニーへ移動 シドニー湾遊覧、シドニータワーなど周辺散策	ホテル泊 朝食のみ
9月15日（日）	世界遺産のブルーマウンテンズ観光 動物園にてコアラとのふれあい	ホテル泊 食事なし
9月16日（月）	ナイチンゲール博物館、移民博物館、原住民美術館訪問	ホテル泊 食事なし
9月17日（火）	シドニー・キングスフォード・スミス国際空港発 関西国際空港着	

※ 全日程において、現地で働く日本人看護師の充実したサポートが受けられる安心で充実した研修プログラムです。

【主となる研修先】

University of New Castle, Gosford Gosford Hospital
 所在地：77 Holden St, Gosford NSW 2250 所在地：75 Holden St, Gosford NSW 2250

＊ただし、訪問予定施設の都合により、訪問先の変更や日程が変わることがあります。

【宿泊予定先】現在手配中

2名1室（個室希望の場合は追加料金）

【参加費用】

約 35～45 万円（※学生個人の実費相当分のみの概算になります）

〔旅行代金に含むもの〕

航空運賃、宿泊代金（2名1室）、全食事代金（ 、日程表記載の研修費用、日程表記載の観光費用、現地移動費用、現地ガイド代金

〔旅行代金に含まない主なもの〕

ETAS（オーストラリア電子渡航許可）取得費用 ーシステム利用料 20A \$

旅行傷害保険代金（9日間 8,070円～）

関西国際空港までの交通費、その他個人的諸費用